

# 「高崎プライド」～心と形を整える～

令和2年12月8日(火) NO18 文責 木下 文秋

## 質を落とさない

「質を落とさない」という言葉は、私が修学旅行中に生徒に送ったメッセージです。この一年コロナウイルスの影響を受けて、入学式、体育大会、文化祭、部活動など全ての学校行事や活動が縮小され簡素化されました。臨時休業も続き、それらの行事に費やせる時間も限られていました。当然、練習する時間が足りなかったり、準備をする時間がカットされたりしました。そんな中「コロナを言い訳にして質を落とすことのないようにしたい」と考えていました。修学旅行については、総合の時間で京都や関西について下調べをしている中に、九州方面に変更になりました。楽しみにしていたUSJや京都の観光などがなくなりテンションが低くなるのではないかと気がかりでした。「質を落とさない」とは行き先は変われども、私が皆さんに最高の修学旅行を保障するためのメッセージのつもりでした。修学旅行中の心得は次のとおりでした。①時間厳守 ②メリハリをつけて行動 ③感染予防対策の徹底 ④集団行動 ⑤公共のマナー ⑥目配り気配り心配り ⑦高崎プライド 2年生の皆さんどうだったでしょうか。できないこともありましたが、心得を常に意識し、「質を落とさず」全行程を終えられたことは意義深いことだと思います。ルールがあってそれをみんなが守ることで集団行動は成立します。関西への旅行は叶いませんでしたが、質を落とさず学びと笑顔に満ちた修学旅行ができました。

## 三年生の進路実現に向けて

三年生は三者相談もほぼ終了し、それぞれが自分の進路の実現に向けて進み始めました。これから先は全てがスケジュールどおりに進んでいきます。高専の推薦と一般、私立入試、県立推薦と一般等気を抜く間はありません。大事なことはブレずに突き進む覚悟があるかということです。人間は覚悟を決めると底力が出ると思います。自分にとってどの進路がいいのか未だに迷っている人がいたら、早急に解決すべきです。まずは自分自身のことをしっかり理解してください。あなたは本当にその進路先(普通科、農業、工業、商業など)で3年間学ぶ覚悟ができていますか。そこに立ち戻ってください。気持ちにブレが生じていたら、担任の先生、部顧問の先生等に相談してください。思いのほか適切なアドバイスがあるかもしれません。